

青盛 のぼる(ソプラノ) Noboru Aomori

立教英國学院高等学校卒業。

国立音楽大学声楽学科卒業後イタリアへ留学。1995年パレルモにて“一日だけの王様”でオペラデビューを飾る。

その後リクルートスカラシップ生、文化庁派遣在外研修員としてイタリアにて研鑽をつむ。日本音楽コンクール声楽部門最高位入賞、サンレモ国際声楽コンクール特別賞受賞など、上位入賞歴多数。

ここ数年はオペラ活動が盛んで、2003年、トロヴァトーレでザルツブルグの祝祭劇場大ホールをはじめヨーロッパ公演、2004年、蝶々夫人にてザルツブルグの祝祭劇場大ホールにて出演し絶賛される。2005年、アイーダ、ナブッコでヨーロッパ公演、蝶々夫人、マクベスでブルガリア、イタリア、アメリカ公演。

2006年、アイーダでザルツブルグの祝祭劇場で主演、ブカレスト国立歌劇場にて“魔笛”(夜の女王)の公演のほか、マクベス、蝶々夫人、トゥーランドット、ナブッコ、ドン・カルロでヨーロッパ公演を果たす。

2007年、アイーダ、トゥーランドット(タイトルロール、リュウ)、フィガロの結婚でアメリカ公演、ナブッコでリスボンのサンカルロ劇場、スペイン各地、ブルガリアにて公演。2008年1月、ザルツブルグ祝祭劇場を皮切りにフランス(ストラスブル etc)ドイツ、オーストリアの劇場にてトゥーランドット(タイトルロール、リュウ)公演を果たす。2011年秋からは、「蝶々夫人」のヨーロッパ公演。どの劇場も大盛況で喜ばれ、新聞のクリティックも賛辞の言葉を述べている。

2012年夏には、スイス音楽祭で「ナブッコ」に出演予定。

西山 昌子(ヴァイオリン) Masako Nishiyama

篠崎弘嗣、鷺見三郎の両氏にヴァイオリンを師事。東京芸術大学音楽部にてヴァイオリンを井上武雄、W.ハンケの両氏に、室内楽を浅妻文樹氏に師事。在学中、東京アカデミー・アンサンブル(現東京ハルモニア室内オーケストラ、1990年に改称)創立と同時にコンサートマスターとして演奏活躍を始める。同大学卒業後にアメリカに留学し、ポール・マカノヴィッキー氏に師事。帰国後、同アンサンブルに復帰。コンサートマスターおよびソリストとして国内のみならず、海外の著名な音楽祭(メニューハイン音楽祭、パリ夏の音楽祭、ルツェルン国際音楽祭等約40カ所)で演奏活動を行い現在に至る。

尚、東京ハルモニア室内オーケストラは、2002年3月永年の演奏活動に対して、平成13年度 芸能功労者表彰を授与された。

藤森 いづみ(オルガン/ピアノ) Idumi Fujimori

桐朋学院大学ピアノ科、米国ウェストミンスター・クワイア・カレッジ大学院、オルガン演奏学科及び教会音楽科卒業。オルガンをE.ローンに師事。また、M. C. アラン、O. ラトリラの指導を受ける。アメリカではオルガニストとして教会に勤めながら、メトロポリタン美術館などのコンサート・シリーズ、教会より招かれ多くのリサイタルを行う。現在は靈南坂教会オルガニストとして独奏活動を続けるほか、合唱伴奏者として、またピアニストとしても室内楽を中心に演奏活動を行っている。

日本オルガニスト協会、キリスト教礼拝音楽学会会員。



会場

日本キリスト教団 靈南坂教会
〒107-0052 港区赤坂1-14-3
TEL 03-3583-0403

六本木1丁目駅(出口3)下車 徒歩5分

澁谷山王駅(出口13)下車 徒歩6分

神谷町駅(出口4)下車 徒歩8分

都営バス 都01(渋谷駅→新橋駅)赤坂アーツヒルズ前下車 徒歩5分